

新年あけましておめでとうござい
ます。新春を迎えるに当たり、謹んで
ご挨拶を申し上げます。

昨年6月の役員改選に伴い、藤田
会長の後任として、務めさせていた
だくことになりました。改めて、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、物価の高騰が続き、特にコ
メ価格の高騰など諸物価の安定が見
通せず、長期化していることなど私
たちの生活にも直結する様々なこと
がありました。そうした中、大阪・関
西万博、世界陸上の開催そして、東京
2025デフリンピックにおける日本勢
の獲得メダル数が過去最多となつた
こと等、明るい話題も見られました。

当協会においては、計画通りの事
業展開を進めることができ、9月に
は、全道身体障害者福祉大会を帯広
市で開催し、加盟団体の皆様や関係
者の皆様のご支援・ご協力により、
無事終了することができました。心
より感謝申し上げます。



新年のご挨拶

一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会
会長 田中 利和

新年のご挨拶

北海道身体障害者新聞

発行人
一般社団法人
北海道身体障害者福祉協会
会長 田中利和
札幌市中央区北2条西7丁目(かでる7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
隔月 25日発行
会員購読料(年) 90円
(会費に含む)
非会員 同 2,000円

今年は、9月28日(月)に札幌市での開催を予定しております。北身協では、事務局が鋭意準備を進めてまいりますので、是非、多くの会員の皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

さて、最近の障がい者福祉を取り巻く情勢として、一昨年「改正障害者差別解消法」が施行され、努力義務とされていた民間事業者における合理的配慮の提供が義務化され2年目を迎えており、今後、本法律の実効性をより高めるためには、地域において心のバリアフリーの理解を深め普及していくことが、以前にも増してますます重要な要素となり、障がいを理由とする差別の禁止と合理的配慮が、当たり前のようになります。受け入れられる取組が一層、進展することを期待しております。

新年を迎え、当協会といたしましても障がいの有無にかかわらず、誰もが安全安心に暮らせる地域共生社会の実現に向けて、関係機関・団体と一緒に連携し、障害者福祉施策や法制度がより良いものとなるよう、当事者の思いを反映できる取組を進めてまいりたいと考えておりますので、会員の皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。

監理會
代表會
監事會
監事長

本年が、皆様にとりまして希望に満ちた素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

加石齊度堂木東園伊澤山阿佐三
藤田辺前全林田賀川部橋浦
正保文知と繁しき俊英喜忠勇
義徹男明治は聰平俊夫男吉

石い西澤さ加佐き須齊阿佐さ白大お田た
川か田だ 藤と橋は佐藤部へ藤う幡は橋は中な
陽悦俊しん 忠理り 喜裕ひろ 俊利じ
子朗平成よしお 男子徹夫人と浩彰ひろひら
和かず

日本オストニー協会 北海道視覚障害者福祉連合会
須佐理恵子 仁 柿崎 崎 柿
北海道支部 仁
北石北伊登深砂滝千根三士紋江芦美苦網岩夕北帶釧室小函
斗狩廣島達別川川歲室笠別別別別唄見張見廣路蘭樽館
市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市

白石山今永大後古淀中西藤松竹花江井の小白田住浅佐
石川出中沼ぬ橋藤田川が川田田田田尾上松林幡中田田藤
勝陽哲岩順雄俊智ス 悅孝昭光邦義昭利一秀
美子夫雄子逸彦聖キ 稔朗二枝則清則夫雄浩和林勲臣



鈴木慎也木古内町長による
始球式・デモゲーム

10月8日(水)、木古内町ファミリースポーツセンターにおいて、レクリエーション交流会が初開催されました。2年に1度開催していたスポーツ大会に代わる試みとして、各町対抗戦ではなく、会員相互の親睦とスポーツに親しむ機会作りを目的として、各町男女混合によるチーム編成を作り、今回はボッチャによるゲームを行いました。当時は7町より選手・応援者64名が参加し、また、運営スタッフとして、木古内町・福島町役場職員、木古内町社協職員、木古内町身障協のご協力により、レクリエーション交流会を無事に終えることができました。

今回は3名1組による合計18チームでゲームが行われ、中にはご夫婦で参加された会員もおり、決勝戦では夫婦が属するチーム同士が戦うこととなり、奥様がいたチームが見事優勝し、夫婦対決は奥様に軍配が上がりました。



それぞれの投球に一喜一憂したゲーム風景



おなじみの競技「ボッチャ」

11月8日(土)、滝川市三世代交流センターで当協会主催の「ボッチャとモルックのスポーツ教室」が開催され、会員18名が参加しました。

滝川身体障害者福祉協会 『見事な投球に歓声!』 ボッチャとモルックの スポーツ教室

初めてボッチャを体験する選手や運営スタッフがほとんどで、才リジナルのルールやコート作りを行い、不安のなかゲームが行われましたが、各町の参加者からは「楽しかったよ。」「またやりたいね。」などの声が聞かれ、笑顔で閉会式を迎えることができ、各町の会員との親睦や絆がより一層深められた一日となりました。

6チームに分かれて予選リーグと順位決定戦を行い、見事な投球や思わず展開で得点が逆転するなど、歓声と笑いが絶えず会場は終始盛り上がりました。



狙いをさだめて、木製のスキットルを倒そう!

昼食の弁当を囲んだ懇親会も和やかな雰囲気の中で会話を弾みました。表彰式では、入賞者に賞品を贈呈し、全員に景品と役員手作りの豆ごはんが振る舞われました。スポーツを通じて交流が深まり、笑顔あふれる楽しい一日となりました。

渡島地区身体障害者福祉協会 レクリエーション交流会

来賓として、開催町の鈴木慎也式、さらにはデモゲームにもご参 加いただき、鈴木町長の投球を見て、投球感覚を参考にする選手や「町長ライン踏んだから無効だね。」など、参加者から笑いの声が聞こえたり、会場は和やかな雰囲気の中、交流会が進められました。

や運営スタッフがほとんどで、才の親睦と交流を深めることを目的としたもので、滝川市社会福祉協議会から尾西良介氏と岸波克夫氏を講師に迎え、午前はボッチャ、午後からモルックに挑戦しました。

障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめるスポーツを通じて、会員同士の親睦と交流を深めることを目的としたものです。

道新コスモス奨学生からの感謝のお便り

北海道新聞社会福祉振興基金からの助成により、道内の特別支援学校高等部等から推薦のあります72名の生徒の皆様に給付しています。

今年度の奨学生からお便りが届きましたのでご紹介します。

※学年・お名前等は非公開とさせていただきます。

北海道高等聾学校①

今回、道新コスモス奨学生の奨学生として選考していただき、感謝しています。頂いた奨学金は、進路に関わる資格を取得するために、そして近い将来に、一人暮らしを始めるための費用に充てようと考えています。

私の家庭が経済的に厳しい状況にあるので、このような制度は、たいへん貴重であり、感謝すべき機会です。そのため、頂いた奨学金は、計画的かつ有意義に遣うつもりです。

そして、これまで以上に、進路の実現のために、北海道高等聾学校専攻科での学業に励みます。奨学金の給付について、本当にありがとうございます。

ありがとうございます。



この度は、奨学生の支援をいただきありがとうございます。奨学金は、模試や検定を受けたり、辞書や文房具を買う為に使わせていただきます。

私は、他の方よりも言葉遣いや言い回し、文章の構成に苦手なところがあります。なので、常に相手の気持ちを考えながら自分の考えをしっかりと伝えられる人になれるよう意識して努力をしていきたいと思います。

職業体験では、指導してくださる担当の方の説明をよく聞き、後で自分自身が理解できるように分かりやすくメモにまとめる事、もし分からぬことがあります。頂いた時には、聞き直して確認すること。その他、人として大事な挨拶・返事・お礼をしつかりする事を身に付けられるように頑張ります。

奨学金の援助、本当にありがとうございます。

北海道高等聾学校②

北海道美深高等養護学校

あいべつ校

障がい者パソコン教室

伊達身体障がい者福祉協会

令和7年11月5日(水)、伊達市民活動センターにて、パソコン教室を開催しました。講師は、パソコンボランティアプラザ室蘭の西野美樹子氏と工藤恵美子氏に来ていただきました。



たくさんの方が参加してくれました。

この度は奨学金をいただきありがとうございました。私がこれから頑張りたい事は作業です。作業学習では調理と清掃などがあります。

調理ではカレーなどの料理を作っています。私はカレーに入れるとめ色玉ねぎとカレーに添えるきゅうりの醤油漬けを作っています。あめ色玉ねぎでは最初にフードプロセッサーなどでみじん切りに作業出来るかを考えながら行なっています。きゅうりの醤油漬けではしょうがの千切りを細く丁寧に仕上げられるかを意識して作業しています。窓清掃では主に教室清掃を行なっています。さまざまな仕事がありましたが私が一番難しいと思ったのが窓清掃です。窓清掃ではウオッシュヤーと言う道具を洗剤に付け窓を擦り汚れを落とします。その後にスクイーザーと言う道具で洗剤を拭ります。その後にタオルで残った洗剤を拭き取ります。手が届かない所の洗剤の拭き取りが難しくボトルと言う道具の先にタオルを付け工夫しながら作業しています。これからはより効率良く丁寧に作業出来るように工夫しながら頑張りたいです。

これらの作業学習を通して社会に出で働く力を養うことが出来ると思います。これからはより一層頑張っていきたいと思っています。

今年で3回目となるパソコン教室ですが、今まで作品づくりが主だったこともあり、今年はパソコン操作の技術力アップに力を入れ、エクセルを使ってカレンダーを作りました。写真を持参してきた方もいましたが、好きなイラストや画像を思い思いに使って、オリジナル作品ができあがりました。お互いの作品を見せ合いながら会話が弾み、親睦や交流のひとときにもなりました。

